



まっぼくッ

Contents

- 2P 医師紹介・三病院合同医療連携懇談会
- 3P 新松戸中央総合病院 医療連携懇談会・第2回 在宅部門連携会
- 4P 第21回 関東KG学術大会・BLS講習会
- 5P むすびプロジェクト
- 6P 園芸活動・防災訓練
- 7P 季節の食事・薬局コラム 低血糖について



回復期リハビリテーション病院で一緒に働きませんか？

看護師募集



ブランクある方もお気軽にお問い合わせください



賞与年3回 (夜勤者 4.5ヶ月)

研修制度充実

入職お祝い金あり 規定有

給与
正看護師：320,400円～(夜勤4回含む)
准看護師：272,100円～(夜勤4回含む)
※経験年数に応じて算定

勤務時間
①日勤 8:30～17:00 ②遅番 12:30～21:00
③夜勤 16:00～翌9:00

待遇
住宅手当25,000円(規定により)、通勤手当上限30,000円
リフレッシュ休日(夏季5日、冬季3日)、ユニフォーム・シューズ支給
退職金制度あり(勤務3年以上) 福利厚生、産休育休取得可

その他
残業ほぼなし！有給消化率85%以上！



病院の詳細内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。

松戸リハビリテーション病院 検索

<https://matsudo-reha.com/>



●交通機関
■松戸駅(JR常磐線・新京成線)車で5分
○松戸新京成バス
・如來堂経由東松戸駅 紙敷車庫行き(松戸駅東口2番のりば 松9 松10)「東中塔前」バス停下車徒歩5分
・工業団地経由東松戸駅 紙敷車庫行き(松戸駅東口2番のりば 松7 松9)「富士見台」バス停下車徒歩8分
・三矢小台行き、野菊野団地行き、新東京病院行き(松戸駅東口1番のりば 松1 松2 松3 松5)「富士見台」バス停下車徒歩8分
■東松戸駅(北総線・JR武蔵野線)車で5分
○松戸新京成バス
・如來堂経由松戸駅東口行き(東松戸駅4番のりば 松10)「東中塔前」バス停下車徒歩5分
・工業団地経由松戸駅東口行き(東松戸駅4番のりば 松9)「富士見台」バス停下車徒歩8分

松戸リハビリテーション病院 広報誌 2024 Vol.41

まっぼくッ

2024年12月発行

企画発行 松戸リハビリテーション病院 広報委員会

日本医療機能評価機構認定病院
千葉県松戸市和名ヶ谷1009番地の1
TEL:047-703-1555/FAX:047-703-1556

医師紹介

8月より入職となりました。

2021年にリハビリテーション科専門医を取得し、直近3年間は急性期病棟に併設した回復期病棟で勤務しておりました。より専門性を高めたいと思い、当院でお世話になることを決めました。患者様の「障害」を少しでも軽くできるよう、チーム医療を実践していきたいと考えております。

ご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、精一杯努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

佐久間 善之 医師



新松戸中央総合病院 医療連携懇談会

7月24日に新松戸中央総合病院との医療連携懇談会を開催いたしました。

新松戸中央総合病院から当院へご転院された2名の患者さんの経過報告、質疑応答を行い、その後に懇親会と院内の見学案内を実施しました。症例報告後の質疑応答の際には、急性期での経過や工夫していた内容を踏まえた上で回復期での取り組みについてのご質問や、退院先の調整・環境設定に際して患者さん・ご家族との関わり方について等のご質問を頂きました。懇親会では、会食を交えながら積極的に交流を図り大変有意義な時間となりました。

今後も顔の見える関係性を大切にしながら継続した連携を図らせて頂き、地域医療に貢献できるよう取り組んでいきます。

リハビリテーション科



千葉三病院合同医療連携懇談会

カマチグループ千葉三病院(千葉みなとリハビリテーション病院、八千代リハビリテーション病院、当院)合同医療連携会が開催され、地域の医療機関、施設、居宅介護支援事業所等の方々にご参加いただきました。

連携会では、蒲池健一先生よりカマチグループの実績報告があり、また、当グループの取り組みの1つである「身寄りに問題を抱える方の支援プロジェクト」についての報告がありました。

私たちは、地域医療における連携の重要性を再確認し、今後も継続して連携を図ることで、地域医療に貢献していく決意を新たにしました。今回得られた知識やネットワークを活かし、より質の高いリハビリテーションを提供していきたいと考えています。

医療連携室



第2回 在宅部門連携会

8月23日に、第2回 通所・訪問リハビリテーション報告会と懇親会が開催され、今回も多くの介護サービス事業所・介護支援専門員の方々に参加いただきました。

当院の通所・訪問リハビリテーションの事業所紹介や症例報告、懇親会を通して、活発な意見交換や情報共有を図ることができました。

今後も、地域のリハビリテーションに貢献できるよう取り組んでいきたいと思っております。

リハビリテーション科



第21回 関東KG学術大会

この度は第21回関東KG学術大会に参加し、グループ病院の他職種を交えた学術大会で貴重な機会を頂きました。

発表の内容は、「手指消毒に関する意識調査と消毒液使用量の関係性」というテーマで啓発活動を通し、各病棟スタッフの手指衛生の意識調査および実際の消毒液使用量の差異を研究しました。発表までの過程で様々な手指衛生に関する参考文献を目の当たりにし、知識の習得だけでなく病棟全体の手指衛生の意識の違いを知り、手指消毒使用量向上に繋がられたことは大変嬉しく思っています。

今回、研究するにあたって資料作成や発表の手助けなどをしてくださった皆様には大変感謝しております。本当にありがとうございました。

リハビリテーション科



BLS講習会

BLS研修を行いました。BLSとは、心肺停止や呼吸停止に対する一次救命処置のことです。当院では年1回、職種を問わず全職員が参加してBLS研修に参加します。事務職員も実技を行うことで不測の事態に備えています。

危機管理の意識を高めていくことができるよう今後もいろいろな研修を行なっていきたいと思います。

総務課



むすびプロジェクト



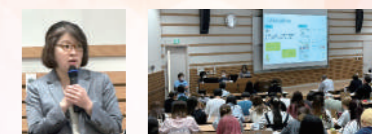
「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、退院後もその人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。今回はその取り組みのひとつをご紹介します。

「福祉と医療の連携を考える会」参加&発表

福岡県を中心に活動されている、「NPO法人 列島会」「社会福祉法人 あきの会」「NPO法人 ゆとり」（以下、3法人）が合同で主催する「福祉と医療の連携を考える会」へ参加しました。3法人は多岐にわたる福祉事業を展開されており、事業内容は訪問看護・介護、グループホーム、療養介護、医療型児童入所施設、就労継続事業、計画相談など幅広い支援をされています。

当日は、「高次脳機能障害の医療と福祉」についてシンポジウムが行われました。当事者家族の生の声や、行政、支援事業所の活動や思いなどを聞くことができ、高次脳機能障害への理解をより深く理解することができました。また、この会には地域の方も参加されており、高次脳機能障害の理解と地域活動を広げる機会となりました。

トピックス発表でむすびプロジェクトの活動報告、公式LINEで行っている退院後の支援、復職・就労支援が必要な患者さまへの取り組みを中心に発表させていただきました。この発表を通じて、今後も3法人とむすびプロジェクトの連携を深め、回復期リハビリ病院に入院される方、退院された方へより良いサービスが提供できるよう取り組みます。



復職・就労支援 代表コーディネーター意見交換会

2024年7月2日、東京品川病院にて、復職・就労支援代表コーディネーター意見交換会を開催しました。

関東カマチグループの16病院より、リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカー・看護師の代表者が集い、グループワークを通し意見交換を行いました。グループワークでは、現在使用している評価ツールの見直しと今後の活用について、事業所との連携や各部署の取り組みについて、病院や職種を越え活発な意見交換が行われました。

月に一度の復職・就労支援会議では、ZOOMを通しての顔合わせですが、対面で交流する初めての機会となりました。コーディネーター同士の顔の見える関係づくりのきっかけとなり、今後の具体的な活動を見出すことができた、とても有意義な会となりました。



園芸活動



9月下旬に冬の収穫に向けて、キャベツ、白菜の苗を植えました。
退院後に自宅で園芸を行う患者様と一緒に肥料、苗を購入し、畑を耕しました。
暑い日が続きましたが、朝や夕方等の涼しい時間を選びながら作業しました。 リハビリテーション科



季節の食事



メニュー
七夕そうめん、天ぷら盛り合わせ、冬
瓜の翡翠館、フルーツポンチ



メニュー
天丼、清まし汁、おくらとトマトの和え
物、甘夏缶



メニュー
赤飯、清し汁、秋刀魚の塩焼き、菊花
和え、芋ようかん



今後も患者様に喜んでいただけるメニューを工夫していきたいと思ひます。
※こちらに掲載しておりますのは通常食になります。患者さんの疾患や嚥下機能に応じて食事量やメニューが変更になる場合もございます。 栄養科

防災訓練

病院で行われた防災訓練に参加しました。この訓練を通じて、災害時にどのように行動すべきかを学ぶことができました。

医療現場では、自分自身の安全だけでなく、患者さんの安全も確保する必要があります。そのため、冷静さと迅速な判断が求められます。訓練とはいえ、実際の災害時を想定して行動することの重要性を改めて感じました。

また、消火器の使い方についても学びました。実際に消火器を使ってみると、その操作が意外と難しいことに気づきましたが、実際に災害が発生した時に落ち着いて対応できるようにしたいです。

日頃から防災意識を高め、備えを怠らないことを再認識しました。今後も定期的に防災訓練に参加し、知識と技術を磨いていきたいと思ひます。 総務課



薬局コラム

低血糖について

今回は、糖尿病薬の副作用で知られる低血糖およびその対応についてです。

低血糖とは、血糖値が正常範囲以下にまで下がった状態のことをいいます。血糖の値に応じて以下のような症状が現れますが、個人差もありますので自分の初期症状や低血糖になりやすい状況を理解しておくことが重要です。

低血糖の主な症状

血糖値 (mg/dL)

およそ70

・汗をかく ・手足の震え ・脈が速くなる
・不安な気持ち ・顔色が青白くなる

50程度

・目のかすみ ・ものがぼやけて見える
・集中力の低下 ・疲労感

50以下

・異常な行動 ・けいれん ・昏睡

●低血糖が起きた時の対処方法

症状を感じたら、すぐにブドウ糖(10g)、ブドウ糖を含む清涼飲料水(150~200mL)、砂糖(20g)などのいずれかをとり、安静にしましょう。α-グルコシダーゼ阻害薬(ボグリボースなど)を服用している場合は、ブドウ糖が必要です。

薬剤科